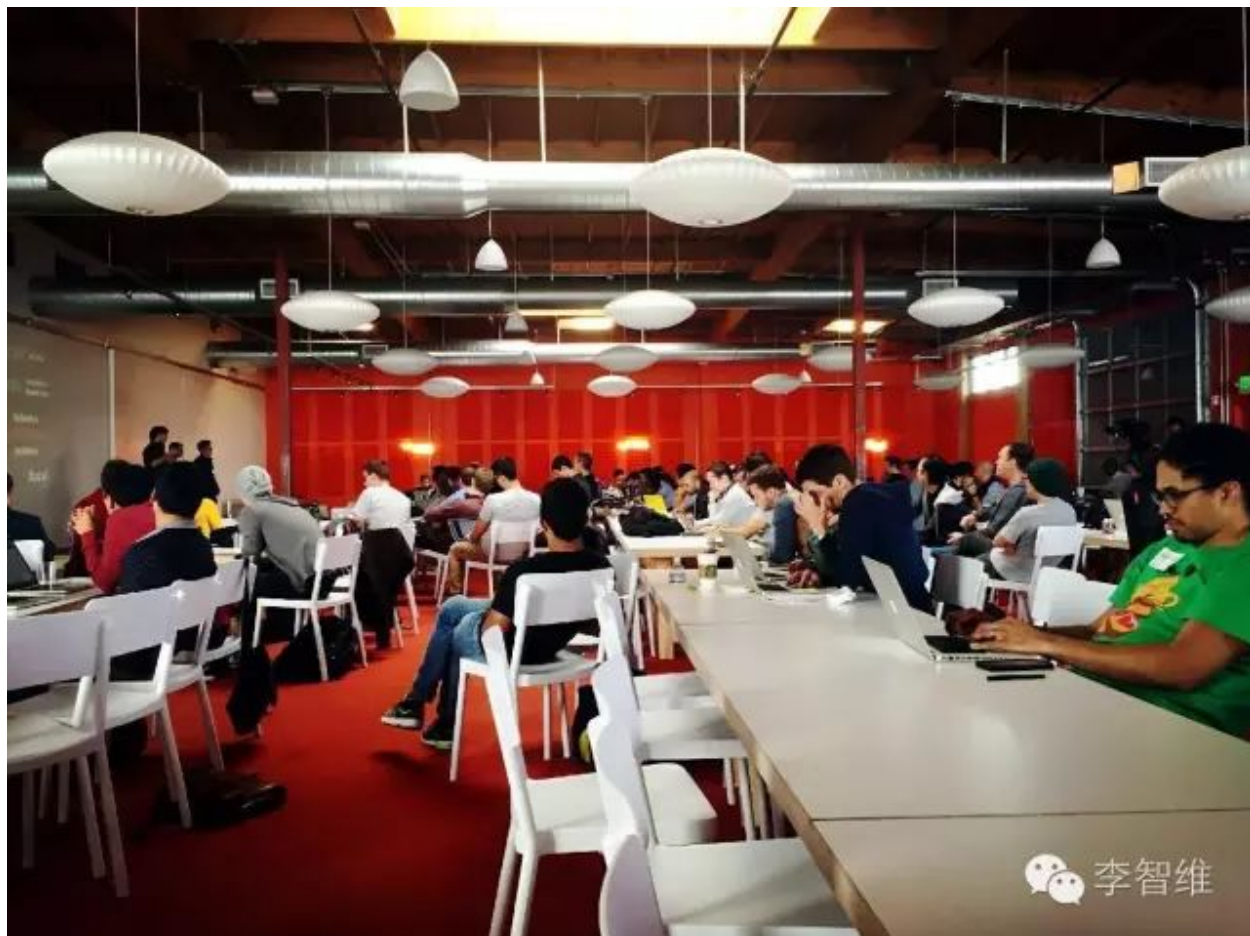


21 歳の CEO と一緒に小さな目標を達成しよう



这是我在 3 月份访问硅谷时在 Y Combinator 拍摄的照片。房间里聚集了一群创业者，他们来自世界各地，大多 20 岁出头，比如来自 MIT 的大二、大三学生等。给我的感觉是，同龄人中最顶尖的一群已经走上了创业的道路。如果我不来创业，就会更加落后。于是，我决定再次启航。



95年辍学少年历经月入 5k、15k、25k，硅谷工作、创业失败之后，再次起航啦.....初二时告诉自己要科技改变世界，但一年年越发觉得自己平庸，希望能燃尽青春、吃尽世间所有苦难，实现最初的梦想！



Like



Comment



208



李智维

218 件の「いいね！」

をいただきました。皆様のご支援に心から感謝します。

私はどのようにして今日まで歩んできたのでしょうか？21歳の私が一切を顧みずに飛び出し、物事を成し遂げようと決意した原動力は何だったのでしょうか？

経歴

私の経歴を簡単に紹介します。中学時代からプログラミングを始め、アルゴリズムコンテストに参加していました。大学1年生で北京林業大学に入学し、複数のAndroidアプリを開発しました。その中には学校の3500人が利用する「北林助手」や、ハッカソンで3等賞を受賞した後に数ヶ月かけて開発した「iword」があります。大学1年生の夏休みにはLeanCloudでインターンシップを経験し、その後退学してLeanCloudで1年半働きました。最初は初心者でしたが、元GoogleやAlibaba、Wandoujiaの同僚たちの中でパフォーマンスが上位半分に入るまで成長し、会社のためにAndroidとiOS版のアプリ「LeanChat」を開発し、多くのデモを作成し、会社のiOS SDKも開発しました。会社からいただいた15kの給料に恥じない働きをしたと思います。その後、2015年11月に葉孤城さんたちと共に「Reviewcode.cn」を立ち上げ、交流会やトレーニングコースを開催し、15万元の収益を上げました。チームではバックエンドとフロントエンド開発の半分、トレーニングの半분을担当し、製品を立ち上げ、プロジェクトを遂行しました。3月にはシリコンバレーに学びに行き、Googleを訪問し、世界最高のインキュベーターYCで起業を体験しました。その途中でシリコンバレーでの仕事の機会もありましたが、断りました。帰国後の6月、チームの方向性に問題が生じ、続けることができなくなりました。その後、元聚美副総裁の葉老板と元聚美CTOの楊Junさんが再起業した会社に加わり、彼らと共に深夜2時や3時まで働く日々を送りました。この期間、機会があればいつも彼らと話をし、30代前半で若くして成功を収めた二人の老板から多くのことを学びました。しかし、私は本当に性急で.....老板たちの期待に応えられず、また自分で起業することにしました.....

こうして、21歳の私は、大学4年生になる年齢で、25kの給料を捨てて、再び起業することにしました。実際、私と一緒に働いたことがある人ならもっとよく知っているでしょうが、上記の紹介は表面的なものです。例えば、iOS、Android、バックエンド、フロントエンドのポジションで20k~30kの仕事を見つけることができ、いくつかのスタートアップ企業から技術ディレクターとしての招待も受けています。

しかし、私はまだまだ未熟です。この記事を読んでくださっている達人の方々には、どうか笑わないでください。結局のところ、多くの人と知り合いになり、自分がどの位置にいるかは自覚しています。

なぜ起業するのか

私も最初は起業する勇気がありませんでした。起業とはなんと面倒なことでしょう。お金はどこから来るのか？人はどこから見つけるのか？何をするのか？などなど。会社の登録方法さえもわからない状態でした。しかし、多くのことを経験し、多くの人や出来事に触れるうちに、自然と勇気と自信が湧いてきたのです。

高校が終わった夏休み、私は二つのことをしました：1) Lisp を学ぶ 2) 『ハッカーと画家』を何度も読みました。当時の私は、長年のアルゴリズム競技で何も成し遂げられず、大学入試も上手くいきませんでした。一方では、陳立杰などの国際金メダリストたちに打ち負かされ、もう一方では、大学入試で何千人、何万人もの人々に完敗しました。私は本当に平凡で、自惚れていた自分が実際にはどれほど平凡だったかを痛感しました...子供の頃、自分は将来すごい人間になると信じていましたが、現実には、自分がどんどんダメになっていくことに気づくばかりでした。だから、プレッシャーが大きく、何かを変えるために行動を起こさなければと思いました。

北京に来た初日、CSDN が主催する中国ソフトウェア開発者大会に参加し、『大話西遊』の主プログラマーである雲風先輩と話をしました。彼に、昔コードを書いていた頃、誰かと交流していたのかと尋ねると、彼は笑いながら「いや、自分で楽しんでただけだよ」と答えました。ちょうどその時、Lisp について話している人がいて、それは LeanCloud の技術責任者である Dennis さんでした。彼の講演が終わった後、こっそり最前列に移動して、彼と話をし、どんなソフトウェアを使ってコードを書いているのか聞いてみました。帰ってからネットで調べてみると、Dennis さんは以前 Alibaba のミドルウェア技術専門家で、いくつかのオープンソースプロジェクトを行い、JD.com や Tencent などの大手企業でも使われていることがわかりました。

その後、Dennis 兄にメールを送り、LeanCloud でインターンシップと仕事をする事になりました。一年半の間、同僚や上司の言動を注意深く観察し、彼らの優れたところを学びました。上司の江宏は、イェール大学の博士で、Google で3年間働いた後、帰国して起業しました。最初は美味書簽、その後は LeanCloud を立ち上げました。普段の一言一行から、なぜ上司がこれらを成し遂げることができたのかを理解しようとしていました。Dennis は技術責任者として、技術面での重責を担うだけでなく、日常の技術管理も行っています。彼の持続的な高生産性には、いつもどうやって実現しているのかと興味を持っていました。他の同僚もそれぞれ専門分野で非常に優れていました。LeanCloud でこんなに素晴らしい大学のような経験ができたことに感謝しています。

LeanCloud は半年以上の間、Microsoft のインキュベーターオフィスで働いていたため、隣接するいくつかの会社の友人や経営者たち、例えば Kungfu Bear の WR や LX、QuantGroup の多くの人々と知り合いました。彼らは以前、Baidu Video の製品責任者で、起業しました。彼らのうちには、Wall Street や Google から帰国して起業した人もいます。また、ある会社は全員が Tsinghua 大学出身ということもありました。

マイクロソフトのインキュベーターでの日々、実は多くの人と出会いました。Matt Scott、码隆科

技の CTO で、以前はマイクロソフトのシニア開発マネージャーであり、世界トップクラスの会議で数多くの論文を発表しています。蘇州街の深夜 2 時の道で、彼は私にこう言いました。「若者よ、忍耐強くあれ。自分のコアスキルを築き上げるんだ。世界一流の仕事をするためには、好奇心だけでなく、世界を変えたいという憧れが必要だ。いつか自分の仕事の世界に大きな影響を与えることを想像するんだ。」

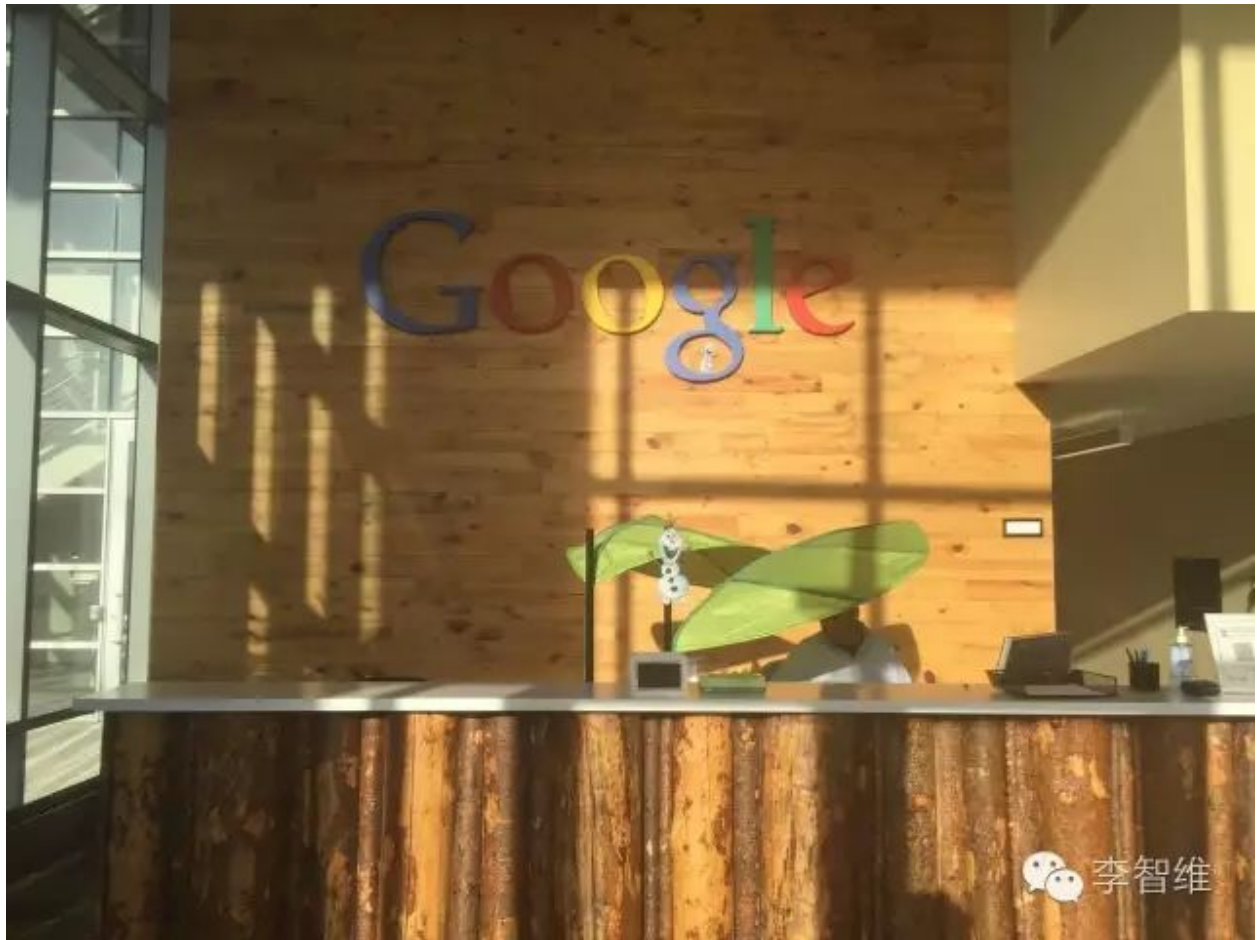
その後、JZP のような優秀な同世代の人々とも知り合うことができました。彼は当時、LeanCloud でインターンシップをしてスタートアップの雰囲気を感じたいと思い、メールで私に連絡をくれました。ZP は中学 2 年生の時に全国情報学コンテストで一等賞を獲得しました。現在は清華大学の姚班に在籍し、大学の休暇中はマイクロソフトやグーグルでインターンシップをしている大物です。普段はブラウザエンジンや MongoDB のソースコードを読み、深層学習を研究しています。たまに ACM コンテストに出場して一等賞を取ってリラックスすることもあります。何度か接するうちに、彼らは長年難しい問題を研究しているため、私にとって難しい問題でも彼らにとっては何でもないことがわかりました。彼らは物事の原理に対して好奇心を持ち、好きなことを深く研究しています。

その後、宜龍が会社に来ました。彼の Weibo 「iOS 程序猿 袁」には 2 万人以上のフォロワーがいて、その多くは iOS エンジニアです。私は宜龍に会社の業務を紹介し、宜龍は私のオープンソースプロジェクトをリツイートしてくれました。それによって、多くの人が私のプロジェクトに注目するようになりました。知名度は良いものです。エンジニアは静かにコードを書き、内功を鍛えるべきですが、知名度があれば、作ったものにより多くの人が注目し、意見をくれるようになります。会社も同じで、良い製品だけでなく、良いマーケティングも必要です。

11 月に、葉孤城と知り合いました。孤城も iOS コミュニティでの大物です。一緒に食事をしている時に起業のアイデアが浮かび、話が盛り上がりました。もともと起業したいと思っていた私にとって、ちょうど良いきっかけとなり、起業の旅が始まりました。2、3 ヶ月の開発を経て、2 月中旬に製品「Reviewcode.cn」をリリースし、2 月末には 1 日あたり約 8000 の PV を記録しました。しかし、このアイデアが強力なニーズではないこと、そして私たちのオフラインでの能力が弱すぎると感じ、交流会やセミナーを開催し、オフラインイベントの組織やオフラインでの活動に挑戦してみました。その後、毎日生徒と一緒にプログラミングを学び、夜には Douyu で講義をし、遠隔地や現地の両方から見られるようにしました。感じたことは、オフラインでの活動もやりたいと思えばできるもので、様々な雑用や手間はかかりますが、想像していたほど難しくはないということです。

3 月にシリコンバレーを訪れました。大学 1 年生の時のティーチングアシスタントだった XH さんの助けを借りて、Google で朝食を食べ、周辺を散策しました。彼の同僚やルームメイトたちと知り合い、彼らは北京大学や中国科学技術大学で修士号を取得し、卒業後に Google に就職した人たちでした。3 人で大きな一軒家を借りて、普段は車で通勤しています。週末にはヨセミテ国立公園やニューヨークに遊びに行くそうです。彼らの生活を垣間見て、新たな世界を目の当

たりにしました。



コンピュータ歴史博物館を訪れ、先人たちの傑作を目の当たりにしました。そろばんからパーソナルコンピュータまでの進化の過程を一步一步見てきました。



スタンフォードを散策していると、多くの優秀な人々と出会いました。ここで生物学の博士号を取得している同胞、アメリカで育ちスタンフォードのコンピューターサイエンス学科で学ぶ同世代、そしてケンブリッジを卒業後、ここで化学の博士号を取得している友人などです。

次にY Combinatorを訪れ、多くの若者がここで起業しているのを見ました。そこで、中国人チーム「Mailtime」、中国語名「簡信」を知りました。ボスのHHは連続起業家で、以前に音声チャット機能の先駆けであるTalkboxを作りました。彼は父親とチャットする際、父親がタイピングできないため、音声でチャットできないかと考えたそうです。Mailtimeチームのメンバーも非常に優秀で、共同創業者のHockeyは高校時代にアルゴリズムコンテストで全国1位を取り、清華大学とバークレーを卒業し、Twitterで2年間働いていました。Evanは清華大学とCMUを卒業し、YX姉やFrankなども香港中文大学を卒業した優秀な人材です。彼らはGmailの創業者の家でパーティーに参加したことや、その家がどれほど豪華だったかなどについて話してくれました。

住む場所に関しても多くのことを学びました。Airbnbの家主は地元の人で、Appleが84年に上場した時からすでにジョブズのことを知っていました。何十年も彼のニュースを聞き続けてきたそうです。彼は、ハイテクには多くのエネルギーが必要で、それは若者がやることだと話してくれました。その瞬間、ジョブズがこんなにも身近に感じられました。

NBA の試合も観戦し、ビーチやゴールデンゲートブリッジ、ユニオンスクエア、サンフランシスコ市役所など、さまざまな場所を訪れて遊びました。世界は広く、毎日英語を話すのも楽しいものです。世界を探検し、さまざまな人々と出会い、今日は何が起こるかわからないという感覚は本当に素晴らしいものです。例えば、バーで隣に座った美女と話をしたら、彼女はプロデューサーで、スキーに行ったり、美しい自然の風景を見たりした写真を見せてくれました。彼女、夕日、果てしない雪景色、それもまた美しいものでした。キャリアも成功し、あちこち遊びに行く、人生がこんなにも輝かしいものだとは思いませんでした。



6月に、チームの方向性に問題が生じました。やむを得ず、仕事を探し始め、元聚美副総裁の葉老板と知り合いました。当時、彼らはライブ配信とショッピングを同時に行うプラットフォーム「拍拍酱」のチームを構築していました。葉老板の人生も非常に素晴らしいもので、北京師範大学を卒業し、1年間働いた後、2009年9月に化粧品ECサイト「粉皮儿」を立ち上げ、聚美と激しい競争を繰り広げた後、2011年4月に聚美と合併し、その後サプライチェーン副総裁を務め、2014年に聚美が上場した後、聚美極速免税店の構築を担当し、2015年に聚美を離れ、1年間エンジェル投資家として活動しました。本当にすごい人生で、まさに私が望む人生です！CTOの楊Junさんも非常に優秀な方で、以前は聚美のCTOを務め、さらにその前には起業して会社を売却した経験があります。そこで、私は彼らに加わることを承諾しました！

パイパイジャンでの一ヶ月間、暇を見つけては葉オーナーと話をし、食事の時にはお皿を持ってオーナーと一緒に食べ、夜にオーナーが暇な時には廊下を何周か一緒に歩きました。彼らがどうやって起業したのか、どうやってブランドとのコラボレーションを実現したのか、彼が運営についてどう考えているのかを聞きました。彼は言いました、ユーザーが好きでないとしても、なぜ好きでないのかをしっかりと聞き出すことが大切だと。人をプッシュすることを恐れず、プッシュすることを学ぶべきだと。一度でダメなら、二度、三度と繰り返しプッシュする。いつも自分だけでやろうとせず、分からないことは聞く、厚かましくても聞く。葉オーナーも非常に努力家で、よく深夜2時や3時まで面接の相手を待ち、一日中忙しく動き回っていました。土曜日の休みの日も、Appをいじったり、製品をテストしたりしていました。私たちはよく11時過ぎまで、時には深夜2時や3時まで作業をし、週に6日働きました。だから、睡眠時間以外にはほとんど自由な時間はありませんでした。私たちは皆、比較的自発的にそうしていました。これが彼のすごいところで、彼は私たちのような努力する素質を持った人々を見つけ出し、私たちを奮い立たせることができるのです。

一週間滞在した後、彼は私に「ここは好きですか?」と尋ねました。私は「好きですよ、全力で仕事に打ち込んでいます。将来私たちが何をするにしても、これが私たちの未来をより良くするでしょう」と答えました。彼は「そうだね、今頑張れば、未来はもっと良くなる」と言いました。彼の心の中では、これは本当に良い従業員だと思っていたかもしれません。笑。確かにその通りで、私はわざと上司の機嫌を取ろうとしていたわけではありません。今、私は以前の仕事の日々でもっと頑張っていなかったことを後悔しています。そうすれば、起業するための能力をもっと身につけられたでしょう。

上司は私にCEOの模範を示してくれました。Junさんは私にCTOの模範を示してくれました。最初の2週間は、よくJunさんと深夜まで作業していました。Junさんは、元JumeiのCTOで、何軒もの家を持っている人ですが、それでもなお努力を惜しまない姿を見て、私のような未熟者が努力しない理由はないと思いました。その後、Junさんが体調を崩したため、深夜までやることはなくなり、2時か3時には帰るようになりました。彼と一緒に芸術的なWangjing SOHOを歩き、Poly Theaterの向かいの道路で、JunさんのUberが来るのを待ちながら、この機会に彼ともう少し話をしました。彼はJumeiの多くの話をしてくれました。以前、大規模なセールの際にシステムがダウンし、それを解決するのに1、2年かかり、解決した後は功成り名を遂げて引退したこと。彼がどのようにJumeiの成都研究開発センターの数百人のチームを構築したか。週末の登山活動で出会った、意志の強いIT業界の仲間をJumeiに招き、後に彼らが素晴らしい活躍をしたこと。大規模なセールの際には、Chen Ouが彼のコードを書いたり、バグを修正する様子を見ていたことなど。

一ヶ月働いた後、多くの話を聞いても、私はやはりゼロから会社を大きくしたいという欲望を抑えられませんでした。葉老板に相談すると、彼はこう言いました。「聞いていると、君は表面的なものに注目しているようだね。誰かがすごい、すごいと聞くと、焦ってしまう。私は当初、

盲目的な自信を持っていて、自分はきっと成功すると信じていた。大きなことを成し遂げた人たちを見てみなさい。彼らの心はとても強いんだ。」

この言葉が頭の中でぐるぐると回り、忘れないようにノートに書き留めました。駿兄も最後に私に言いました、世界は残酷だと。陳欧や葉老板のように、頂点に到達した人たちが味わった苦しみや経験した困難は、あなたには想像もつかないだろうと。お大事に。

頭の中に長く響き渡り、私は深く考え込んでしまった。

旅に出るべき時は出るべきで、同時に苦勞する覚悟を固める必要がある。上司の経験を知り、私もあのようになれる希望があると感じた。道中には様々な困難や涙が待ち受けているだろうが、私は飛び出していきたい。最も美しい青春を、最も難しいことに費やし、美しい人生の物語を綴りたい。

さて、友よ、私と共に進むことを望みますか？

過去1ヶ月間、会社設立、印鑑作成、国税地税への届出、銀行口座開設、バックエンド開発、フロントエンド開発、デザイン図面作成など、とても忙しく充実した日々を送りました。もう一人のパートナーはiOSアプリの開発を担当しており、すでに大半を完成させています。最初のバージョンを迅速にリリースしたいという思いから、人材をしっかりと探すことを怠っていましたが、優秀な人材を集めることで会社がより速く成長できることに気づきました。そこで、デザインパートナー、技術パートナー（バックエンドまたはAndroid）、運営パートナー、一般パートナー（優秀であれば）を探しています。パートナーの持分は10%から30%の間です。これは私の会社ではなく、共通の野心を持ち、戦闘力のある若者たちの会社です！

私たちが取り組むものは、ここ数年間で私が築き上げた人脈を考慮し、すべてのリソースを動員して行う、最も価値を創造する（お金を稼ぐ）チャンスのあるアイデアです。これは、ここ数年間のクラウドコンピューティング分野、eコマース分野、IT教育分野での洞察から見つけた新しい方向性です。貴重な青春を費やしてでも、このことを成し遂げたいと思っています。

私のWeChat IDは「lzwjava」です。もし既に友達であれば、直接メッセージを送ってください。まだお知り合いでない場合は、WeChatで友達申請を送っていただき、履歴書をお送りください。お会いできるのを楽しみにしておりますし、共に夢を築く機会があればさらに嬉しいです！もし私と友達になりたいと思っていただけるなら、ぜひWeChatで友達申請をお願いします。また、この情報をシェアしていただけると助かります。ご協力に感謝いたします。

人生は短く、私たちはあっという間に親が私たちを生んだ年齢になり、あっという間に三十、四十歳になります。私たちはゆっくりと二三十年働くこともできますし、一生分の生活費を稼ぐために四年間死に物狂いで働くこともできます。世界一周旅行、映画撮影、自然探検など、まだやっていない素晴らしいことがたくさんあります。私たちはまず一生分の生活費を稼いでから、これらの素晴らしい夢を実現したり、より大きな企業を立ち上げて社会に貢献したりすることができます。90年代生まれの人たちも徐々に頭角を現してきています。誰かが舞台の中央に立

たなければならないのなら、なぜ私たちではないのでしょうか？私たちは小さい頃から他人の子供の影の中で生きてきましたが、自分自身に難しい挑戦を与え、一気に追い越すことができます！試行錯誤すること自体が面白いことであり、苦勞して得た果実はより甘いのです！

第二次世界大戦のパイロットの平均年齢は20代前半でした。さあ、私たちが最も戦闘力のある年齢のうちに、偉大な会社と一緒に創りましょう！